

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 2023年3月1日

事業所名 Plus+days平野校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		一人当たりの施設面積は充分だと思えます。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法定人も満たしており、有資格者多数在籍しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子どもたちが視覚的に部屋ごとの目的が分かりやすいようにしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日徹底した清掃を行い、使用したおもちゃや、机等都度消毒しています。室内は完全バリアフリーになっています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日業務終了後、終礼を行い1日の振り返りを行っています。他のスタッフに共有すべき事項は終礼ノートに記入し、各スタッフに出勤時必ず読んでもらっています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様からの評価回答を職員全員で確認し、改善すべきはすぐに改善し保護者の皆様はその内容につきましてご報告させていただきます。	年1回の事業所評価だけではなく、定期的に保護者へのアンケートや、保護者会など開催することで、率直なご意見を頂戴したいと思います。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、ホームページにて公表しています。また、提示を求められた時にすぐに提示出来るよう面談室に常時置いています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、第3者評価はまだ受けたことがありません。今後要検討。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部研修は行っています。義務付けられた研修ではなく個々のスキルアップの為に研修をしています。	今後、外部研修にも積極的に参加したいと思います。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントは毎年取り直し、児童の環境や心身の変化を把握する様にしています。また、児発担当者とミーティングを行いながら個別支援計画を策定しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	標準的なアセスメントツールは使用していません。	今後、発達検査等の客観的な基準を用いて評価していく必要がある
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画策定にあたって、相談支援事業所や、園、学校など連携し必要な項目を追加しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画だけでなく、ミーティング時で話し合った内容を共有し支援してくれています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		週1回、職員とPAさんでプログラム立案し全員に伝えています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		色々な職員・PAさんが立案してくれるので重複することはあまりない。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの特性、状況に応じて作成しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		出勤し、他のスタッフが送迎に出ている時に確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間での振り返りは終礼時に行い、共有ノートに記載しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回支援終了後、学習シートに振り返り・評価を記入いただいています。また、内容によってはグループLINEで共有しています。	
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングを行い、子どもの大きな変化がある時は都度作成しています。	保護者がお忙しい方で、お電話や送迎時しかお話しが出来ない方がおられます。ゆっくり話しが出来ない為極力お会いして話し出来るよう検討必要
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		毎回、児発管と児童指導員で参加する様にしています。	
	22	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じ、各関係機関と連携取るようにしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、該当するお子さんがおられません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、該当するお子さんがおられません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在、該当するお子さんがおられません。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在、該当するお子さんがおられません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後、専門機関と連携し助言や研修を受けたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		園・幼稚園へは定期的に見学行かせてもらい、情報共有しています。地域のお祭りに参加したり、PAさんのお子さんに来ていただき一緒にイベントを行なったりしています。	感染状況が落ち着いた際は、地域の児童デイサービス交流をしたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後、参加したいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳に気になる記載があった時など、送迎時に確認したり、メールやお電話で確認しています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングは出来ていません。しかし、各保護者からご相談のお電話は多くいただき、都度面談したり一緒に役所に行き相談先につなげるようにはしています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にお伝えしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画をお渡しする際にお伝えしています。直接お渡しできなかった時はお電話にて説明しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からご相談があった時は、すぐにご連絡し面談等行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会は出来ていませんが、同じような悩みのある保護者同士でお話しが出来るよう場所の提供や、連絡先交換のお手伝いをしています。来年度は是非保護者会を開催したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談の連絡があった場合は、すぐに日程調整し面談をしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、請求書等配布する際「Plusdays通信」を同封しています。保護者も子どもたちも楽しみにしています。また、SNSでは、Facebookで子どもたちの活動を配信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類等は鍵付き書庫に保管しています。また、配布物やFacebook等を配信するときは絶対個人が特定されないよう複数人でチェックしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子ども・保護者の特性や、生活環境に応じた連絡方法をとっています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		近隣の高齢者施設と定期的な交流をしたり、地域のお祭りに参加するなどしています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		新1年生には、登校時の危険について実際に外に出て訓練をしています。	防犯マニュアルに関してはまだ不足部分もあるので早急に作成したいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な避難訓練を行っています。	年度途中の契約の児童には個別で訓練したいと思います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			服薬の有無は確認出来ているが、薬名・量の確認が出来ていない児童がいるため早急に確認します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事場面では、他児童と距離をとる、担当スタッフ配置をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書は都度作成し、全スタッフが確認するよう所定位置に置き確認サインをもらうようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		他のお子様の安全確保の為に身体拘束が必要な場合、個別支援計画書に追記し、保護者へ丁寧な説明をし承諾いただくようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。